

お待ちしております！

衛生用品・CDを包んでお届けします。

いろいろな商品が、お待たせしました！



コープきんぎ7つの生協分の雑貨を仕分けするライン(通常の商品)

生理用品や大人用紙おむつ、尿漏れパッドなどをご利用の組合員さんから「かさばるものは生協で買った方が便利なのに、無包装だと班で分けて持ち帰るときに恥ずかしい」と。また雑貨類の仕分けでは、一つの袋に形や重さが様々なものを一緒に入れてお



コープきんぎ事業連合
物流部チーフ
齊藤さん

く好ため、一好きなアイリスのCDはケースごと飾るのも楽しいから、ヒビ割れしないようにしたい。...

9月4回から変更

衛生用品



生理用品・軽失禁用品・大人用紙おむつ

見えにくい袋に入れて商品のシールを貼ってお届け



※包装用袋イメージ
(大人用紙おむつのケース企画は除く)

10月1回から変更

CD



※梱包イメージ
緩衝材に入れてお届け(BOX入り、一部のDVDは除く)

※ご要望などは、配送担当者や組合員サービスセンター・店舗サービスカウンターへお伝えくださるとありがたいです
☎0120-409-555 FAX0120-409-880 Eメールはinfo@palcoop.or.jp



さまざまな商品が多くのお取引先から入荷してきました(京都市南区のコープきんぎ非食品物流センター)

たいへん、お待ちしております。雑貨をお届けにご意見・ご要望をいただくことが多かった、「生理用品は見えない袋に入れて欲しい」「CDケースをヒビ割れ防止のため、緩衝材で包んで届けてほしい」、9月4回より改善し、包装してお届けします。

「欲しい」とのお声もいただいています。

様々な形や大きさの雑貨類やスプレー缶・瓶入りなど、取り扱い注意のものなどを仕分けしています。9月4回からは、組合員の皆さまからのご意見を受けて、新たに衛生用品とCDの包装を始めます。包装作業は、班別仕分け(集団)前の事前準備として、商品名シールを貼付いたします。今後も組合員さんがご利用しやすいように努めます。



コープきんぎ非食品物流センター長 中村さん



主に大きいものや取り扱い注意の雑貨を仕分けするライン



NO.20

被災者に寄り添い、絆をつなげる支援活動を



「釜石の奇跡」(釜石市内の小・中学生の約3,000人のほぼ全員が津波の難を逃れたこと)の当事者の一人である中学校の先生に「奇跡と呼ばれることに違和感があります...奇跡でなく、日頃から積み重ねた教育・訓練の成果。生き抜く力があるから...」とお聞きしました。

この「防災教育」を釜石で繰り返しされていた片田敏孝さん(群馬大学教授、『命を守る教育』PHP研究所より)は「対処療法的なマニュアル教育ではダメで、想定にとられないこと、逃げる姿勢を育むこと」と言われています。併せて「色々な手法を使って『津波の怖さを繰り返し教える』前に、『自分たちの街の豊かな自然・恵みを知り、素晴らしい街や大切な命を失いたくないという想いを育む』ことが防災教育です」と。

今回の震災を教訓としていただくことも、被災地の皆さんの願いです。改めて「防災教育」の意味について考えたいものです。

(NPO遠野まごころネットに常駐する
パルコープボランティア事務局・林さんより)



高台から津波に襲われた町を臨む



グラウンドの水遣り

もともと町があったと言っていた所は、今では何も無い所になっていて震災からもう一年以上たっているからもうと長くもたないといっている人が多かった。...

収穫の収穫の時農家の方は休みの日なのに来ていただき、ありがたかったです。僕と同じ中学2年生がいて、とても話しがしやすくて、友達になってとても楽しいときを過ごせたのも、ボランティアのおかげです。また参加することがあればよろしくおねがいします。(門真市・竹名さん)

子どもたちに笑顔を ～パルちゃんも参加～



ふくしまキッズ博

8月4日(土)・5日(日)
福島市 あづま総合体育館

原発事故の影響で屋外で遊ぶことが少なくなってしまった福島の子供たちに、この夏休みに笑顔になってもらおうと屋内で開催され、たくさんの子供たちが親御さんと一緒に参加し、2日間で3万6千人の来場者がありました。地元のコープふくしまさんも協賛団体として参加し、全国の生協の着ぐるみキャラクターを集めて、福島の子供たちに喜んでもらおうとの呼びかけがあり、おおさかパルコープのパルちゃんも参加することに。

パルコープからは3名の組合員さんが参加してパルちゃんに扮装し、一緒に写真を撮ったり握手をしたり、福島の子供たちと楽しく過ごしました。一日も早く安心して住める福島を取り戻すために、私たち大人が今、何をしなければいけないのか、子供たちの笑顔に胸を締め付けられた2日間でした。

※ボランティアバスのご案内は、ホームページでも掲載しています。http://www.palcoop.or.jp/pal_news/information/tour2.html
※ボランティア活動報告もホームページに掲載しています。http://www.yodogawa.coop/info/info/shinsai

第5回(7/27~30) 組合員さんの岩手ボランティアバス報告



「岩手ボランティアバス第5回(7月27日~30日)」は、計30名の組合員さんが参加しました。今回のボランティアの内容は、上長郡地区にできる公民館のわきの草抜きや6月に植えたグラウンドの芝生の水遣り、菜種の収穫などでした。参加された組合員さんの声を報告します。



よどがわ生協・ならコープ合同企画

参加者募集

第13回「岩手ボランティアバス」

【日程】11月2日(金)~11月5日(月)

【申込締切】9月28日(金)

【募集定員】20名(3生協で60名)

1度参加された方も、申し込みを受け付けています。定員を超えた場合は抽選となります。

【参加費】8,700円

(ボランティア保険・宿泊費、食事代など含む)

【行程】3泊4日(車中2泊)

1日目 パルコープ本部(京橋)集合(18時)<車中泊>

2日目 岩手10時頃着、ボランティア活動(終日)

<宿泊泊>

3日目 ボランティア活動(午前)、被災地視察(午後)

<車中泊>

4日目 パルコープ本部前到着(9時頃)

【参加条件】組合員さん、及びその家族で安全上、中学生以上の方。複数名参加可。

*ボランティアの内容は、現地での要請に基づいて活動します。

*持ち物などの詳細は別途、参加者にご案内します。

*天候不順により中止になる場合があります。

【申し込み・問い合わせ】パルコープ理事会室

☎06-6242-0904 (月~金 9時~18時)